

注意点1

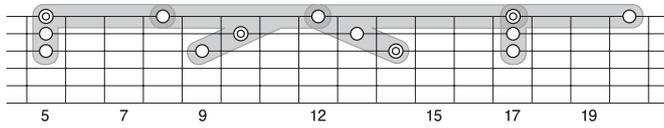


3本弦スウィープの トライアド・ポジション

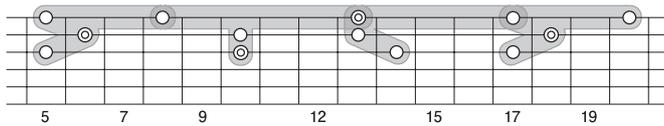
1つのトライアドでも、ポジションは指板上に多数存在する。まずは、3本弦スウィープで登場するトライアド・ポジションの基本形を覚えよう。図1はAマイナーとFメジャーのトライアドを例として挙げ、3本弦スウィープのポジションングを表したものだ。基本的に3 & 2弦がそれぞれ1音ずつで1弦が2音という4音1セットのパターンとなっているのがわかるだろう。トライアドは3和音なので3種類の組み合わせができるが、4つ目のポジションはそのどれかのオクターブ違いになっている。メジャー&マイナーで、それぞれ3つのポジションをしっかりと覚えて、あとはコードに合わせてルート音を変えれば、どんなポジションでも対応できるはずだ。いろいろと試しながら練習してみてほしい。

図1 Aマイナー&Fメジャー・トライアドの3本弦スウィープ・ポジション

Aマイナー・トライアド ◎ルート音=A



Fメジャー・トライアド ◎ルート音=F



注意点2



小指が人差指を 追いかけるように押弦!

このフレーズの前半3小節では、各小節ごとに1つのトライアドをポジションチェンジしている。1弦では常に人差指と小指による2音の押弦が行なわれているが、ポジション移動は、毎回小指が人差指を追いかけようとするようにすると良いだろう。例えば1小節目1 & 2拍目では、人差指による1弦17フレットの押弦後(写真①)、その人差指を狙って2拍目の1弦17フレットを小指で押弦する(写真②)。1弦での小指の移動は、毎回プリングが入るため人差指とセットで移動させることが大切だ。その際に、変化していくトライアドの形を頭で描きながら、その他の指を移動させよう。この一連の動きが、どんなコードでも対応できるようになれば、ネオクラシカル系ギターの攻略はすぐ目の前だと言える。



1 1弦17fを人差指で押弦。小指の移動準備を忘れずに。



2 人差指を狙って、1弦17fへ小指を移動。人差指も同時に!



3 1弦12fを人差指で押弦。中指の押弦準備もしておくこと!

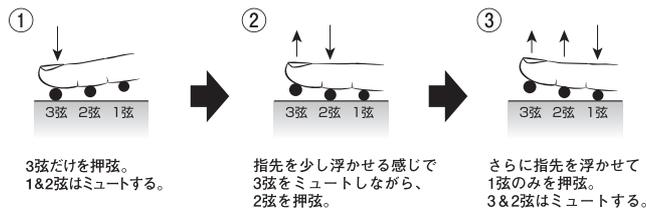
～コラム37～

地獄の戯れ言

スウィープ奏法を練習していて困ることとして、異弦同フレットのセーハが挙げられる。1本指で同じフレットの弦を2～3本同時に押さえるのだが、1本ずつクリアに鳴らすスウィープでは弾かない弦を鳴らしてはならない。そのため、セーハをしながらも各弦の音をクリアに鳴らすための1本指によるミュート移動を体得しなくてはならないのだ(図2)。これは第1 & 2関節をうまく上下運動させることによって、弾く弦とミュートする弦をずらしていくことだが、指自体は移動させず、弾きたい弦に重心を置く感じで波を作るように行なうのがポイントだ。1音ずつしっかりと鳴っているかチェックしながら練習しよう。

左手セーハはウェーブ運動で乗り切れ!?

図2 1本指によるウェーブ押弦



叫喚フィンガリング地獄

焦熱ピッキング地獄

阿鼻テクニック地獄

無間超絶フレーズ地獄

最終練習曲地獄